

カジノ
道頓堀プール
いらぬ

府市統合本部が「大阪都」への移行準備を強行

ねらいは大企業優先の「成長戦略」

市民サービスはゼロベースでスリム化

市民の願いは 雇用・福祉・子育て支援

橋下市長は昨年12月28日に行った施政方針演説で、「成長は広域行政、安心は基礎行政」とし、「府市統合本部」が、「うめきた」や夢洲・咲洲のまちづくり―大規模開発を行い、市民の暮らしを守る基礎自治体の仕事は、「ゼロベースで考え、できる限りスリム化を図る」と述べまし

た。「大阪にふさわしい自治の仕組み」「市役所を変える」「大阪から日本を変えていく」「国のかたち、グレート・リセット」と語りましたが、市民生活の現状、市民の貧困について触れませんでした。市民の願いは雇用・福祉・子育て支援の充実で

す。府市統合本部で論議しているカジノを含む統合型リゾートや道頓堀プールはいりません。3年連続児童虐待死事件が起こった大阪市で、「住民の福祉の増進を図る」地方自治体の原点に立ち返ることが橋下市長に求められています。

市本格予算は7月に編制 市民施策は暫定期間中に検討、削減

2月20日発表された2012年度暫定予算案では、赤バスへの補助金、地下鉄事業からのバス事業会計への繰り出し金を凍結。露骨な民営化路線です。市営交通・上下水道料金福祉措置、新婚世帯向け家賃補助などは4カ月間の事業とし、府市統合本部、大阪市改革プロジェクトチームが暫定期間中にあるに於いて市民サービスを削っていくねらいもついています。

橋下市長、住民にも痛み訴え

橋下予算大なた悲鳴
文楽協会・大フィル・赤バス…支出凍結
「応分の市民負担」強調
「府市統合」へ足固め着々
人件費203億円、職員1049人削減

朝日、産経新聞の見出しから

学校選択制「想像とちやう」 市P協勉強会 制約多くて保護者びっくり

「大阪市PTA協議会が23日、初の勉強会を開いて先進地の東京都の事例を詳しく説明すると、保護者から『思ってたのとちやう』という声が相次いだ」と朝日新聞2月24日付が報じました。

特定の学校に人気が集まる傾向があり、定員を中する傾向があり、定員を

超えた希望があれば抽選となる、抽選に落ちたら子どもが傷つくことが心配の保護者が多い、兄弟が同じ学校にいけない場合もある、現実の制約を考慮して地域の学校に就学させる親は増え、今年度は7割になったことを聞いた市内のPTA役員らは8割

が「自分が思っていたのと違う」と答えました。教育基本条例への批判が広がっています。子ども・保護者が競争に巻き込まれる学校選択制の強行を許してはなりません。